

『学習指導要領』における基礎造形の問題 石濤『画語録』を指南書として

蝦名敦子

小中高の『学習指導要領』と、石濤『画語録』を指南書として、現代の視点から基礎造形に関する内容を再考し、対比的に基礎造形に関する問題点を抽出した。現行の『学習指導要領』には、一貫して観察力を深めることが述べられ、今までに益して基礎・基本が重視されている。しかし、なぜ観察が大事なのか、美術における造形的な観察の意味が明確でないことと、基本的方法論を具体的に明示することこそが、重要であると指摘した。